

参加無料

第75回バリアフリー推進勉強会

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION



旅客船における バリアフリー化推進セミナー@広島

写真は、バリアフリー施設整備助成を活用したシーパセオ(瀬戸内海汽船)

共生社会を実現するため、“誰もが使いやすく”という視点で、施設やサービスを作り上げることが求められます。特にハード面は、一度整備すると、容易に改善できないことも多く、設計段階から障害当事者の参加や、利用を想定したきめ細やかな配慮が重要となります。

本セミナーでは、当事者参加の意義や意見の取り入れ方、広島県における交通バリアフリーの現状などを共有し、旅客船を中心に、公共交通における当事者参加のあり方を考えます。

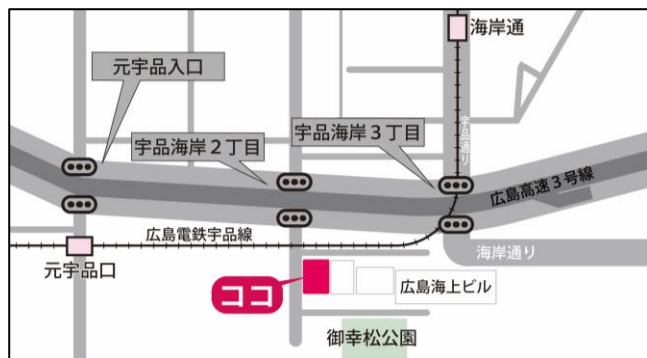
日時

2025年**3月21日** (金)

場所

13:30～15:30

広島港湾福祉センター5階大会議室
(広島県広島市南区宇品海岸2丁目23-25)



広島電鉄 宇品線「元宇品口」電停より 約100m。
施設駐車場には限りがあるため、できるだけ公共交通機関でお越しください。

対象

公共交通事業者、旅客船の設計・建造に関わる方、行政担当者、障害者団体、バリアフリーの取組にご興味がある方。
お気軽にご参加ください。

定員

50名 ※会場参加のみ。
先着順とさせていただきます。

お申込み

bf6seminar@fukken.co.jp 宛に、
①氏名、②メールアドレス、③貴社名(団体名)、
④参加者(全員)をご記入の上、送信ください。
【募集〆切】2025年3月14日(金)
【情報保障】文字通訳や手話通訳などの情報保障が必要な場合は、2025年3月5日(水)までに、その旨の記載を加え、お申込みください。

プログラム

13:30 開会挨拶・趣旨説明

【基調講演】

13:40 **施設整備における当事者参加の必要性**

DPI 日本会議 副議長

／NPO法人ちゅうぶ 代表理事 尾上 浩二 氏

障害者も快適に移動できるインクルーシブ社会の実現のために、施設整備では何が課題で何が必要か、障害当事者の代表として全国各地を訪ね、内閣府のアドバイザーとしても活躍されている経験も踏まえご説明いただきます。

広島県における交通バリアフリー化の

14:20 **実態と当事者参加の現状**

障害者生活支援センター・てごーす 代表 畑 俊彦 氏

広島に住む障害当事者として、また生活支援センターの代表として、日ごろ目の当たりにしている広島の交通機関や施設におけるバリアフリーの実態や、当事者参加の現状についてご紹介いただきます。

14:50 **旅客船におけるバリアフリー化の課題**

復建調査設計(株) 福嶋 浩人

近年建造された旅客フェリー3隻の調査結果をもとに、見落とされがちなバリアフリーに関する整備・運用面の問題点をご紹介します。

15:10 **質疑応答・助成制度等のご紹介**

発表内容についての質疑応答を通して理解を深めるとともに、財団の海上交通助成制度や旅客船研修についてご紹介いたします。

15:30 閉会

【主催】



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

【問合せ】

復建調査設計(株) 総合計画部 交通まちづくり課
担当：福嶋 E-mail ; bf6seminar@fukken.co.jp
電話 ; 050-9002-1750